

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	重要事項説明書の苦情相談機関に「秋田県福祉サービス相談支援センター(秋田県運営適正化委員会)」を追加すること。	重要事項説明書に苦情相談機関として「秋田県福祉サービス相談支援センター(秋田県適正化委員会)」を記入し、玄関に張り出している苦情相談フローの中に書き入れました。	職員に周知し、11月29日の運営推進会議で報告。家族には「くおん便り」にてお知らせします。	1ヶ月
2	1	入居者の重度化が進む現状の中、今後も事業所の方針を共有した支援の継続について。	重度化が進む中、理念で共通認識し、不足している部分については、地域の資源を利用していきたい。	1ヶ月に1回の職員会議、申し送り時、そして主治医、薬局、訪問看護、訪問歯科医、弁護士、家族などと連携を取り、ネットワークを密に対応していきたい。	ヶ月
3	33	災害対策について、鹿角市指定避難場所になっており、地域のため貢献するよう期待したい。	高齢化が進み、一人暮らしの人が多く、有事の時の協力は難しいこともあるが、積極的に働きかけていきたい。	普段から地域に出て、行事やイベントに参加するほか、日々の散歩、出張販売、理美容院、食材の配達などで知り合い、信頼関係を作り、有事の時はお互いに助け合えるように、避難場所としても提供していきたい。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。